

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は例年より多い忘年会に加え、30数年ぶりの大雪のため、タクシーは連日フル稼働し、例年の2倍以上の売上があった。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ファッション性の高い高額商品を中心に消費の高まりが顕著である。季節商品のコート、ブーツ、マフラー、手袋などの売上は、多いもので前年の2倍、少ないものでも3割増となっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・12月中旬から大雪に見舞われ、非ウールのコートの売上は前年の2.5倍以上となり、品切れ状態が続いた。また、高額のカシミアのセーターやコートも人気があり、単価の上昇につながった。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価の下落は続いているが、来客数が増加しているため、全体としては若干上向き傾向である。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は変わらないが、低迷していた客単価がようやく前年を上回る状況になってきた。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・11月中旬以降の寒さのため、暖房製品の売上は前年比で50～100%増加した。この特需以外の動きをみると、薄型大画面テレビは引き続き好調であるが、パソコンは相変わらず不調である。白物家電でも洗濯機の売上は高額乾燥機能付きの影響で前年比10%以上増加したが、冷蔵庫は10%近く減少した。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月は年末・歳暮商戦の中でいちげんの客の来店も多く、高級酒が良く売れた。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・12月の前半は予約客数が前年比20%近い増加をみせたが、後半は雪の影響でキャンセルが多く、月全体では5%増にとどまった。
		タクシー運転手	来客数の動き	・大雪のためタクシー利用客が一時的に増加した。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は初旬からの雨、中旬からの雪により足場が悪く、タクシー利用客が増加した。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・比較的余裕のある家庭に多いといわれるケーブルテレビの契約数が、年末という季節変動要因を差し引いても、従来を上回る勢いで伸びている。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・夏場に入場料の値下げを行ったにもかかわらず、食事や土産類の購入が増えたため、売上は前年と同じ水準となった。
	変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・今月は大雪のため宅配便を利用する売上に悪影響が出たが、歳暮ギフトの部門では法人、個人を問わず昨年を上回る受注があった。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・家族連れやカップルの来店が増加し、また若年層では女性のリードによる購入が目立つ。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・12月は積雪後の数日間で冬物の売上が大きく落ち込んだが、その後改善し、月全体の売上は前年並みにまで戻した。しかし、ミセス商品は積雪直後の売上ダウンを取り返せないままである。
		スーパー（店長）	単価の動き	・月の前半は客単価が上がりなかったが、後半は雪の影響で買物頻度が減少したため、その分客単価は上昇した。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・大雪のため客単価が上昇し、売上が増加した。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・降雪のため、特に除雪用品や防寒用の長靴など実用的な商品を中心に売上が伸びたが、客単価はそれほど上がっていない。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・12月の記録的大雪により、客に冬物衣料や食料品の買いだめ傾向がみられ、来客数、客単価とも前年を上回った。
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・11月中旬以来天候が悪かったうえに、12月の大雪の追い打ちにより、今月中盤はかなり苦戦した。後半は歳暮ギフトが好調に推移したため、全体として来客数は減少したものの売上は若干増加した。	
衣料品専門店（経営者）		販売量の動き	・大雪のため、売上は前年に比べて若干悪化した。ただ、コートやジャケットが売れたため、単価は上昇した。	

	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・月の前半は好調な出だしであったが、中旬以降は大 雪のため来客数が減少し、売上目標に届かなかった。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・車の買換えの商談の中で車種のレベルや購入資金を 下げる傾向が強くなり、支払方法もローン期間を短縮 するなど堅実になっている。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・市場はガソリン価格の高騰もあり、軽自動車や小型 車が中心になっている。このため高額車のセダンが中 心の販売店は大変厳しい。また、北陸のディーラーに とって久々の12月の積雪は痛手である。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・雪の影響もあるが、今月の販売台数は前年比10%減 少した。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・販売受注台数は新型車が発売されたにもかかわらず、 ほぼ横ばいで推移している。
	自動車備品販売 店(従業員)	来客数の動き	・大雪によりタイヤ関連商品の動きは活発であつた が、来客数が大幅に減少した。
	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・ボーナス後の個人利用度が高い時期に大雪が降った ため、忘年会などのキャンセルが相次ぎ、大きな損失 を受けた。クリスマスの3連休はなんとか例年並みの 集客となったが、12月全体では例年の90~92%の集客 となった。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・大雪の影響で営業に支障を来した店舗もあり、売上 低下は避けられない。ただ、街中や駅前の居酒屋等 ではほとんどキャンセルがみられない。
	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・一般宴会は受注件数の増加により増収を見込んでい る。レストランの通常営業では来客数は前年並みで あるが、客単価が減少したため減収となる。式場の供給 過多による婚礼宴会は実施件数の減少、また宿泊部門 は客室販売単価の減少により減収となる見通しで、全 体ではほぼ前年並みとなる。
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・レストランの来客数は増加傾向にあるが、宿泊、一 般宴会を含めた売上は依然として前年を下回ってい る。
	パチンコ店(店 員)	来客数の動き	・大雪のため、来客数、売上、粗利益とも前年を下 回った。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・大雪のため、来客数が大幅に減少し、客との折衝も なかなか進まなかった。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・家計に余裕のある客が多くなり、建築予算は上昇傾 向にあるが、12月は大雪の影響で販売量が伸び悩ん だ。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・大雪により入出が更に悪化している。
	百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・大雪の影響と駅前商店街の空洞化により来客数が減 少している。
	スーパー(営業 担当)	それ以外	・雪が多かったため、月2回も値上がりした灯油を含 め、暖房費の増加が家計を圧迫している。
	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・大雪のため来客数が減少した。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・今月は新型の小型車を発売し、受注の最大化を狙っ たが、既販車も含めて受注総量は計画を大きく下回 り、前年と比較しても低迷している。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・来店客の業種が忙しいにもかかわらず、今月の売上 は期待に反し前年の85%となった。大雪が降ったり、 現金払いの客が少なかったためであるが、忘年会と新 年を一緒に行うという客もみられた。また、個人商 店の経営者からは「非常に厳しい」という声が聞かれ る。
	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・雪の影響などで旅行のキャンセルが多く、売上は前 年比で15%減少した。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・久しぶりの大雪で、入場者数は前年に比べ2けた近 い減少となった。内容的には個人客は出足が鈍く、団 体客・グループではかなりのキャンセルが発生した。
	競輪場(職員)	単価の動き	・入場者数は今月も減少している。1人当たり売上単 価は3か月前に比べ1%下落している。
	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・最近是新築物件の着工数は減少傾向にあり、大規模 なりフォーム工事が目立ち始めている。また、住宅工 事にかかる費用が年々減少しつつある。

		住宅販売会社 (総務担当)	それ以外	・積雪量が多いため、工事の進捗や受注に影響が及んでいる。また、建築現場の除雪費の発生などが利益の圧迫要因となっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・近年まれに見る12月の大雪で人出が極端に減った。売上も同様に激減している。年末のため、多くの商店が困惑している。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・12月に入ってから、新築やプライダルなど目的買いの客が極端に減り、売上が大幅に落ちている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業 (企画担当)	受注量や販売量の動き	・高額商品の伸びが顕著である。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先からの引き合いや、引き合いに対する受注の割合などが強含みで推移している。
		電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注は好調で、2月まで続く。
		輸送業(配車担当)	受注量や販売量の動き	・今月は雪害による影響がなければ、前年以上の物量、利益が確保できた。
	変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注量の確保に苦労している。
		精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・各社とも眼鏡の新製品への取組は行っているものの、依然として産地では厳しい状況が続いている。
		輸送業(配車担当)	受注量や販売量の動き	・値上がりした軽油やタイヤなどの費用負担が大きくなっている。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・生活雑貨卸では例年以上に冬物出荷が続いており、初冬からの寒さが個人消費に好影響をもたらしている。
	やや悪くなっている	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・12月としては20年ぶりの大雪に見舞われ、12月工期の工事が延びたため売上高が減少した。また、除雪費用の発生で、工事の採算も悪くなっている。
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・求人数、求職者数ともに増加している。特に新規求人数、有効求人数とも前年比20%以上の伸びとなっている。非正規型求人が5割を超えたことで本格的とは言い難いものの、着実に回復に向かっている。
		民間職業紹介機関(経営者)	求職者数の動き	・少ない例であるが、派遣登録スタッフの中で正社員希望者が社員に採用された。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・即戦力となる一時的、臨時的求人が目立っている。
		新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・12月の求人広告は前年に比べ2割減少している。パート、アルバイト関係は前年と変わらない。
		学校[大学](就職担当)	採用者数の動き	・学生の内定率は前年よりやや良い。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・全体の求人数は減少傾向をたどっている。このなかでアウトソーシング関連企業の求人割合は依然高く、期間雇用が多い。求職者の動きが鈍化していることも影響し、一般企業に求人意欲が感じられない。
悪くなっている	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・12月に従業員約10人規模の企業整備が数件見受けられた。	